

プラスチック時代以前、 人類は何をつかっていた？

ビニル袋やペットボトルなど、私たちはプラスチックでつくられたものをたくさんつかっていますが、ごみとして海に出てしまうとこまったことになります。一方で自然のものから道具はつくりだすことができます。太平洋の島のくらしをみましょう。



Nakiroa, Futuna Island, Vanuatu, 2008

2026年6月21日 日

海洋博公園 海洋文化館

14:00 ~ 15:30 (13:30 受付開始)

講師	木下 靖子 <small>(一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所)</small>
場所	海洋博公園 海洋文化館 展示ホール 交流ステージ
対象	小学生以上 ※小中学生は保護者同伴参加
参加方法	事前申込み制 定員 20 名
お申込み	電話 0980-55-9045 <small>((一財) 沖縄美ら島財団 美ら島自然学校)</small>

参加費
無料

※要入館料
(大人 190 円、中学生以下無料)

わくわく 海のくらし 文化教室

太平洋の島じまに伝わる、くらしの技術や文化、自然とのつきあい方について紹介する教室です。



木下 靖子 (きのした やすこ)
専門は生態人類学。アジア・オセアニアの海洋文化研究を行う。宇宙船地球号の縮小版ともいえる島嶼環境に暮らす人たちが実践してきた自然利用、資源管理、人間関係のつくりかたに関心がある。主著に『分ける・ためる』(生態人類学は挑む SESSION2, 2021年, 分担執筆) など。

【お問い合わせ】

一般財団法人沖縄美ら島財団 美ら島自然学校
〒905-2262 沖縄県名護市嘉陽 41
開校時間：10:00 ~ 17:30
休校日：毎週月曜日
E-mail：churashizen@okichura.jp